

港区まちづくり マスタープラン



意見交換会ニュース vol. 2

令和8年1月

赤坂地区で第2回意見交換会を開催しました

社会経済状況など、港区を取り巻く環境が大きく変化していることから、区では「港区まちづくりマスタープラン」の改定に取り組んでいます。改定に当たっては各地区(芝地区、麻布地区、赤坂地区、高輪地区、芝浦港南地区、台場地区)で意見交換会を開催し、多くの皆様に参加いただきました。



赤坂地区の第1回意見交換会は令和7年7月17日に開催し、「地区の魅力」「地区の課題」について意見交換しました。第2回意見交換会は令和7年12月18日に開催し、当日は、区より、マスタープランの概要や第1回意見交換会の結果、地区の魅力・特性、課題等について紹介後、「実現したいまちの将来像」や「地区の課題を解決するための取組」をテーマに意見交換しました。主な意見を次頁にまとめています。

まちづくりマスタープランとは

港区のおおむね20年後を見据えた、まちの将来像、まちづくりの方針や取組等の考え方を示す計画です。都市計画に関する土地利用や道路・公園の整備などハード分野を中心に、防災、環境、国際化、観光、福祉、子育て、環境、文化、健康増進など幅広くソフト分野の視点を取り入れて、まちづくりの方向性を示します。

区民意見交換会

区民意見交換会では、地域の実情等をお聞きするとともに、地域の魅力・地域が抱える課題やまちの将来像についてお伺いし、把握することを目的に開催します。ご意見を骨子案や素案に反映させることで、実態を踏まえた実効性のあるマスタープランにつなげていきます。



当日の主なご意見

一 赤坂地区のまちの将来像や実現するための取組案について、ご意見をいただきました 一

まちの将来像／将来像を実現する視点

- 将来像を実現するための取組案

土地利用・活用

住民の意見が取り入れられるまち

- ビル風や圧迫感の問題や、開発用に取得されている空き家の撤去など、再開発の計画段階で住民との対話の場を設ける

住宅・生活環境・地域コミュニティ・防犯

夜も安心して歩けるまち

- 公園や路地にマナーをアナウンスする機能を設置
- 公園だけでなく住宅街にも防犯カメラ設置を進める
- 落書きを防止する取組などまちの美化向上
- 街灯の設置と適切な維持管理を行う

生活に必要なものが揃うまち

- 半径500m圏に生鮮品、生活雑貨を扱う店舗が揃うように誘致を行う
- 再開発の際には生活利便施設の誘導を行う

気軽に運動を楽しめるまち

- 体育館などのスポーツ施設やボール遊びのできる公園の整備を行う

道路・交通

歩きやすく、歩いてたのしいまち

- 道路の使い勝手を当事者(高齢者や子育て世代)の立場になって検討する
- 日陰、木陰が歩道や車道を覆うデザインを増やす
- 歩道(特に坂道)の途中に座れる場所をつくる

駐車・駐輪車両への対策を進める

- 自転車レーンに車が駐車しないような対策を進める
- 時間制限駐車区間や駐輪場の整備を進める

景観

歴史的景観が保全された、街並みの美しいまち

- 建物単体ではなく街並みとしての景観を整えていく
- 街路樹は樹木の成長を考慮して間隔を調整する

防災・復興

災害に強いまち

- 行き止まり道路を解消する取組を進める
- はしご車の届かない40m超の高層ビルの防災対応
- 古いマンションの建替え支援の充実

災害時に人と人のつながりがあるまち

- いざというときの助け合いができるよう地域コミュニティを活性化させる
- 住民や在勤者に避難先の確認や備蓄物資用意を促す

緑・水

街路樹を守り育てる

- 夏は木陰が涼しく、冬はあたたかく過ごせるように落葉樹を植える
- 今ある緑を保全する取組を進める

公園の質と量を向上させる

- 公園への健康器具やテーブルの設置を進める
- スケートボードパーク等の特徴ある公園の整備
- 公園の数を増やしていく

国際化・観光・文化

観光客、働く人にやさしいまち

- 外国人対応の英語表示の整備を進める
- 山車の展示など文化や歴史を感じられる取組を進める

歩道の拡幅など、公共交通の需給状況に応じた取組

